

## 元気な森づくりの日記念「森づくり体験活動」(第1回)実施報告

平成21年10月10日(土)実施

10月16日の「元気な森づくりの日」を記念して、10月10日に宇都宮市みずほの自然の森公園において“森づくり体験活動”を行いました。

この活動は、より多くの県民の方々が気軽に森づくりを体験し、森林の大切さや森づくりの必要性について理解を深めていただくものです。

当日は、県内にお住まいの4歳から68歳までの25名の方々に参加いただきました。

体験活動は、担当職員が森づくり体験活動の目的や実施内容を説明した後、森林組合作業員の樹木を伐り倒すデモンストレーションから始まりました。木が倒れる迫力を目の当たりにした参加者は、実際にチェーンソーを使い丸太切り体験を行いました。最初は怖がっていた参加者も森林組合作業員の手ほどきにより意外と簡単に丸太が切れることを実感していました。

次は、近くの暗くうっそうとした里山林に移動し、不要な樹木を伐採して明るい森を甦らせる作業です。参加者自らのこぎりを持ち、一本一本、木を伐り倒し運び出します。小さなお子さんも、枝を切り落とすなど精一杯お手伝いをしました。30分ほど作業をした森には木漏れ日が差し、参加者全員、すがすがしい汗が光っていました。

続いて、とちぎの木の温もりに触れる体験として“マイはし”づくりをみんなで行いました。紙やすりを使って思い思いの形に削っていきます。最後にえごま油を塗って完成です。「世界に一つだけの木の香るはしをつくることができ大切に使い続けたい」との感想があったように、参加者にとってきっと忘れることのできない貴重な思い出になったことでしょう。



初めてのチェーンソー！使ってみると意外に・・・



明るい里山林づくりのために僕もお手伝い



世界にたった一つの自分だけのはしづくり